

# マリナライフ

[ Vol. 100 ]

## 愛称決定！「さとうみ科学館」

館長 西原 直久

大柿自然環境体験学習交流館の愛称が『さとうみ科学館』に決定しました。「江田島市の豊かな自然に親しみ、自然科学を楽しむための施設」である当館のイメージにぴったりの愛称となりました。今後は、通常使用する名称を「さとうみ科学館」とし、この愛称を前面に押し出して事業を展開することになります。しばらくはご迷惑をおかけすることもあるかと存じますが、ご協力いただけますよう、お願い申し上げます。

「さとうみ（里海）」とは、「人里近くにあって、人々の生活と結びついた海」のことを意味します。周囲を海に囲まれたこの江田島市においても、多くの生き物が息づく豊かな海は、生活の糧であり、学びの場であり、癒しの場でもある、まさに、私たちにとって大切な「ふるさとの宝」を育む「さとうみ」なのだと思います。

当館も、来年度で開館10年を迎えます。愛称も決まり、新たな気分で、より充実した事業をみなさまにお届けできるようがんばってまいりたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

### 《大柿自然環境体験学習交流館 愛称について》

#### 1. 選定方法および決定経過

大柿自然環境体験学習交流館職員（4名）による1次選考（作品をグループ分けし、半数程度抽出）  
大柿自然環境体験学習交流館職員（4名）による2次選考（30作品に絞り込む）  
大柿自然環境体験学習交流館運営委員会（8名）による最終選考（「さとうみ科学館」に決定）  
市教育委員会にて愛称決定について報告（平成22年7月20日）

#### 2. 応募総数

昨年7月から愛称を募集したところ、応募件数116件（市内106件・市外10件）、応募者数にして73人の皆様に応募をいただきました。本当にありがとうございました。

#### 3. 選考結果

作品名：「さとうみ科学館」

応募者：木村 雄平 くん（江田島市立鹿川小学校6年生）

大柿自然環境体験学習交流館 ～なぜ?どうして?を科学する～

# さとうみ科学館

Satoumi Science Museum (SSM)



次のように  
新しくなるよ!  
よろしくね!

<正式名称> 『 大柿自然環境体験学習交流館 』

<愛 称> 『 さとうみ科学館 』

◆「さとうみ科学館」をアルファベットで表記する場合◆

ローマ字表記：「SATOUMI KAGAKUKAN」  
「Satoumi Kagakukan」

英語表記 :「SATOUMI SCIENCE MUSEUM」  
「Satoumi Science Museum」

英語略号表記：「SSM」

<メールアドレス> 『 satoumimail@yahoo.co.jp 』

(変更前：kankyokan\_mail@yahoo.co.jp)

<ホームページ> 『 さとうみ科学館 』で検索!

(現在ホームページをリニューアル中です。新しい内容に乞うご期待!)

<友 の 会> 『 さとうみ科学館 友の会 』

(友の会も名称変更となります! 変更前：環境館 友の会)

※なお、9月1日よりこれまで通称として用いてきた「環境館」は以後使用せず、正式名称である「大柿自然環境体験学習交流館」も行政文書等での使用になります。

【第87回自然観察会 報告】

## ★夜の海のイリュージョン★

8月7日(土)、江田島湾でウミホタルの観察会を行いました。まずは江田島消防署の会議室で、夏の海の生き物たちについて紹介した後、早速夜の海へ。コーヒービンで作ったしかけを防波堤から投げ入れ、待つこと15分。ドキドキしながら「しかけ」を



あげ、中身をバケツに移すと、それが刺激となってウミホタルが一気に青白く光り出し、参加者からは大きな歓声が上がりました。さらに最後には、採集したウミホタルをすべて集めて一気に海に流すと、海面が青白い光に包まれ、幻想的な風景が広がりました。

今回の観察会にあたり、江田島消防署の駐車場と会議室を利用させていただきました。江田島消防署職員の皆様、ご協力ありがとうございました。

# やってみよう 見てみよう

## 科学研究のすすめ ~その5~ の巻

いよいよ夏休みも終盤。科学研究のまとめの時期です。研究で大切なポイントはやはり「考察すること」です。毎年この考察が「うまく書けない」、「時間がない」と頭を悩ませている人も多いのではないのでしょうか。科学研究のすすめ、ラストは「考察」です。

### <⑤秘密をあぶりだす!!>

「考察」とは、今回の研究結果から言えること・言えないことを明らかにし、そこにかくされている秘密をあぶりだすだけでなく、新たな課題が明らかになるととても楽しい過程です。

レポートにまとめる際は、予想した結果になったのか、ならなかったのか、それはなぜなのか、過去の研究結果なども引用しながら、明らかになったことを結論づけましょう。ときどき下の例文1のように「考察」が「結果のくりかえし」になっているだけの作品もみかけるので注意しましょう。テクニク的に実験が失敗した場合は、その理由や改善点などもここに書きます。さらに、「今後、このような実験すれば、こんなことがわかる」という新たな課題についても加えてください。ただし、データや情報が無いことまで考察しないように注意しましょうね。

#### <「結果」と「考察」は違う!>

(例文)

結果：「今日は風が強い」

×考察：「今日は風が強い」ことがわかった。

○考察：「今日は風が強い」のは台風が近づいているからだと思う。



#### 【 考察してみよう! 例題:「カエル博士観察日記」 】



(事実): 〇月△日 今日は雨が降っている

(観察結果) **カエル博士は、今日、雨傘(あまがさ)を持ってきた。**

**考察してみよう!**

**今日は雨が降っているからだろう**

(考察して言えること)

いつも雨傘を持ってくる用心深い人です

(可能性はあるが、今回の観察だけでは言えないこと)

**新たな課題 ↓ さらに観察**

**いつも(晴れ・曇り・雨)雨傘を持ってくるのか、さらに観察**



### ◆ 他にもあるよ!! Let's Try! ◆

科学研究は「まとめ」が肝心。観察や実験をやるだけが研究ではなく、結果をまとめて論文(レポート)にするまでが研究です。小学生の研究も、科学者の研究も、「研究の基本」は同じ。実験・観察の結果にもとづいて、言えること(言いたいこと)を的確に表現し、正当性のある物語をつくることでもあります。実際に「実験した順番」にしばられず、自分の研究(物語)にあわせて必要な結果を並べ替え、物語をつくってみましょう!



これで君も  
科学者だ!

# ごあいさつ

お世話になりました。

支援員 木村さつき

こんにちは。昨年8月から支援員を務めました木村です。それ以前からも、ボランティアなどで関わっておりましたが、支援員としてのこの一年は、また一味ちがった新鮮な毎日でした。要領を得ず、ご迷惑をおかけすることもありましたが、おかげさまで(無事?)任期を終えることができ、あたたかく見守っていただいた皆さまに感謝するばかりです。これからも、観察会に参加したり、ボランティアもさせていただきながら、自分自身、新しくやりたいことにもどんどんトライして、ますます成長していきたいと思っています。一緒にさとうみ科学館を活用し、楽しんでいきましょう(^-^)。一年間、大変お世話になり、ありがとうございました。



着任しました!

支援員 中川雄喜

はじめまして。8月から支援員としてさとうみ科学館で働かせて頂くことになりました、中川雄喜(なかがわ ゆうき)です。6月までは、銀行員として働いていました。体を動かすことが大好きで今はソフトボールをやっています。

学生時代は半導体関係の勉強をしていたこともあり、生物科学については実はあまり詳しくありません。分からないことも多くご迷惑をお掛けすることもあると思いますが、これから皆さんと一緒に色々なことを経験しながら多くの事を学んでいきたいと思っています。これからどうぞ宜しくお願い致します。



## 潮見表 9月の観察に適した日時 (干潮時刻と潮位)

9月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
曜日	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
時分	7:37	8:30	9:56	11:46	1:09	1:58	2:39	3:19	3:57	4:34	5:11	5:48	6:26	7:05	7:50
cm	95	109	117	105	178	145	111	80	54	36	28	30	43	66	94
時分	20:04	21:25	23:49		13:05	14:02	14:50	15:33	16:14	16:53	17:31	18:09	18:49	19:33	20:38
cm	184	208	205		77	47	25	16	21	39	68	103	140	176	205
9月	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
曜日	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
時分	8:59	11:00	0:41	1:30	2:05	2:35	3:03	3:30	3:57	4:25	4:54	5:23	5:55	6:29	7:09
cm	122	134	190	163	138	116	96	80	66	55	49	49	54	64	80
時分	23:10		12:28	13:25	14:07	14:42	15:13	15:42	16:11	16:41	17:12	17:44	18:19	18:58	19:50
cm	211		124	107	90	78	72	71	75	84	98	115	136	160	183

cmの数字が小さいほど、よく潮が引きます。

広島県の暦象と潮位(日本気象協会中国センター)から

潮位30cm未満(網掛けにしている日)が調査に適しています。

### 事務局だより

●これな～に?・・・7月27日、大古小学校の木葉良子校長先生から、長さ15cm程のドリルのような形をした物体をいただきました。実はこれ、ネコザメというサメの卵で、中には1匹のサメの赤ちゃんが入っています。あまり見る機会がないと思うので、事務局まで見に来てね☆



●広報えたじまを見てね・・・9月1日発行の広報えたじま9月号に、さとうみ科学館が特集されます! 夏休み自然・科学体験教室やウミホテルの観察会の風景が掲載される予定なので、お楽しみに☆

●投稿・情報大募集・・・みなさんからの投稿をお待ちしております。次号 Vol. 101 (9月15日号)の原稿締切は、9月10日(金)です。

江田島市教育委員会生涯学習課 大柿自然環境体験学習交流館

## さとうみ科学館

Satoumi Science Museum (SSM)

〒737-2214

広島県江田島市大柿町深江1073番地1

TEL:(0823)57-2613

FAX:(0823)40-3100

メール:satoumimail@yahoo.co.jp

HP:『さとうみ科学館』で検索

### ◆事務局スタッフ◆

館長:西原 直久  
指導主事:八川 慎一  
専門員:清家 暁  
" :山本 真悠子  
支援員:中川 雄喜



(友の会会員 シニア 139名 ジュニア 68名)

◆あとかき◆大柿自然環境体験学習交流館が開館してから毎月発行しているマリライフが、今号で記念すべきVol. 100を迎えることができました!これからもたくさんの方に読んでもらいたいなあとと思います。宜しくお願いします☆(山本)